

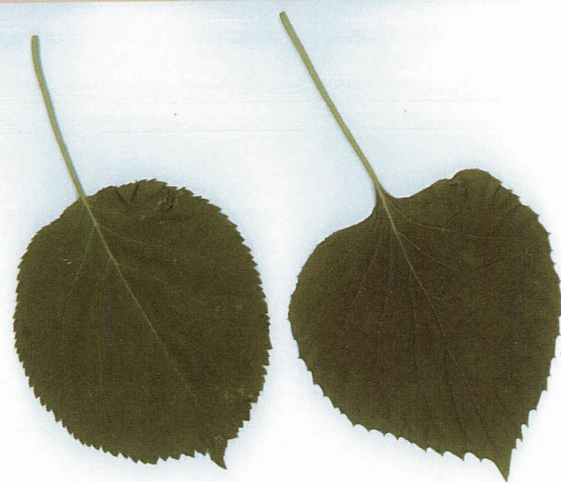
県民の森 植物紹介 ⑤0 イワガラミ (アジサイ科)

つる性の植物です。「岩絡み」と書きますが、名前とは異なり木々の幹に絡みつくのが一般的で、気根を多数出して張り付き高く登ります。

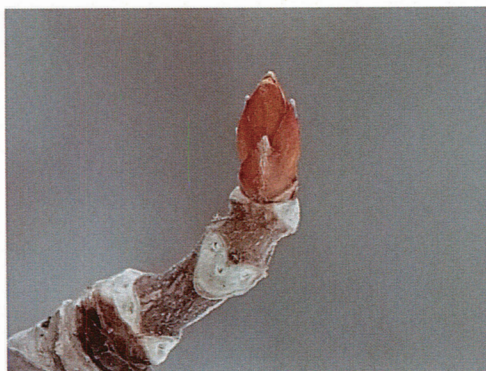
花は夏。よく似たツルアジサイが6月頃から咲き始め、3-4週間後、その花が終わる頃、バトンを渡されたように咲き始めます。花びらに見えるのは装飾花で、虫たちに花があることをアピールしています。ほんとうの花は真ん中にある小さな集まりです。ツルアジサイは装飾花が4枚で花らしい姿なのに対し、イワガラミは、卵型の装飾花が1枚きりで、風変わりな姿なのですぐに分かります。

イワガラミとツルアジサイは同じ場所に生えていてよく似ているので、悩むことも多いです。装飾花が見られない時期は、葉や冬芽でも見分けることができます。葉のギザギザが荒くてハート形をしているのがイワガラミ、ツルアジサイは細かいギザギザで丸い葉っぱです。

どちらも冬に枯れた装飾花や実が残ってドライフラワーになります。雪の上によく落ちているので、冬でも花が楽しめます。そして、春の新芽はどちらも食用とされてきました。天ぷらやお浸し、和え物などにすると美味しいです。イワガラミ、ツルアジサイとも、園内いたるところで見られますので、比べてみるとおもしろいです。



左：ツルアジサイ葉 / 右：イワガラミ葉



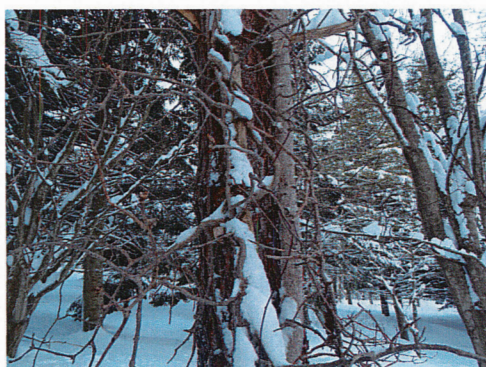
イワガラミ冬芽 2021年1月28日



イワガラミ蕾・装飾花が出てきた 2020年6月28日



イワガラミ花 2020年7月18日



カラマツに絡みつクイワガラミ 2021年1月7日



イワガラミドライフラワー 2021年2月19日



ツルアジサイ花 2020年6月13日